

地域の声

生活のルールは小さいときから身につけておくと大人になっても守りやすい



子ども会は小学生まで。中学生になったら地域の行事に参加する機会がなくなった

地域の「冒険遊び場」には高校生、大学生も来て、小さな子どもたちから「お兄さん」「お姉さん」と親しまれている



リタイアした人たちの知恵をもっと地域に活かしてもらえないか



地域の役員を担う人が高齢化している。交代したくても後継者がいない

障害のことをみんなに理解して欲しい。学校できちんと教えて欲しい



基本目標を達成するための「21の個別目標」

- 11 地域の中に、地域をまとめる人、相談できる人が育っています
- 12 次代を担う人がいろいろな活動に積極的に参加しています
- 13 みんなで教えあい学びあって、地域の生活文化が育まれています



▲六角橋地区懇談会の様子



▲地域の福祉まつり「ふれあって羽沢」

始めよう! みんなで第一歩

「取り組み紹介」

★…地域での取り組み ◆…区役所での取り組み

- ★ 若者がボランティア活動で高齢者と話し、昔のことなどを教えてもらっています。
- ★ 大学生のボランティアグループと地域の商店街が協力し合い、イベントを展開しています。
- ★ 小学校の授業に地域の人がたこ作りや昔遊びを教えに来てくれています。
- ★ 福祉保健センターで受けた健康診査の結果説明会をきっかけに、自分達で健康づくりについて学習する会が生まれています。
- ★ 介護予防のための教室に参加したメンバーが、教室終了後も継続して、学習したことを実践するグループ活動をしています。
- ★ 小学校で行なわれている高齢者とのふれあい給食会は、高齢者の参加希望者が多く、みんな楽しみにしています。
- ◆ 地区センターや地域ケアプラザで定期的に子育ての相談ができるように支援しています。(子育て支援者事業：子ども家庭支援担当)
- ◆ 食を通じて地域の中の健康づくりを進める食生活等改善推進員(ヘルスマイト)の養成講座を開催しています。修了後に地域での料理講座を開くなど、活動が展開しています。(食生活等改善推進員セミナー：健康づくり係)
- ◆ 地域ケアプラザを会場にして高齢者の介護予防のための講座を開催しています。(介護予防事業：高齢者支援担当)
- ◆ 地域の会場で講座を開催し、親子で食の大切さに触れられるように支援していきます。(食育普及事業：健康づくり係)
- ◆ 在宅介護支援センターの相談員の連絡会を開催し、相談の質を高めるための研修や情報交換を行っています。(みんなで進めよう、あんしんケア事業：高齢者支援担当)

「あったらいいな」

朝食を食べない子どもが増えている。食生活等改善推進員としてなにか力になりたい。

中学校の文化祭に地域の人を招くだけでなく、一緒に文化祭をつくれたらいいな。

中学生だって興味のある人はいるから、地域の中でボランティア募集などがあればいいな。

スポーツで大人と中学生の対抗試合をしてみたい。

かめ太郎クイズ⑤

【問題】神奈川区では介護保険の認定を受けている人は65歳以上の人のうちのどのくらいいるでしょうか?

- ①約7割
- ②約2割
- ③約5割

答え p20

かめ太郎クイズ⑥

【問題】障害のある方が製品を作り販売する障害者地域作業所等は区内に何か所あるでしょうか?

- ①15か所
- ②18か所
- ③24か所

答え p20